

直近の世論調査から (2011. 9. 20)

1. 野田内閣の支持率 (11社平均) は59.5%…菅内閣発足時 (59.8%) とほぼ同水準、4社平均 (共同・朝日・読売・毎日) では歴代7位に。

① 9月2日発足した野田内閣に対する支持率の調査結果 (11社) が出そろった。野田氏は民主党代表選では「財政至上主義」(増税路線)、歴史観 (A級戦犯問題) など事前の評判はいまいちで、さらに前原氏の立候補で、「本命から外れた」と見られたこともあり、内閣の支持率は「良くて50%台前半か」などと観測筋では見られていたが、9月発足直後の各社支持率 (11社平均) では59.5%と、菅内閣の発足時の支持率59.8%とほぼ同水準の数値が出ている。10日に鉢呂経産相が舌禍事件で辞任という事態が起きたが、時事の調査を見る限り、強い反動は出ていないようだ (時事の内閣支持率は50.1%と低い、菅内閣時は41.2%、鳩山内閣時は60.6%と、他社より低く出る傾向がある)。

	支持	不支持
日経9.4	67	21
毎日9.4	56	14
読売9.4	65	19
朝日9.4	53	18
共同9.4	62.8	18.1
時事9.16	50.1	17.3
NHK9.12	60	18
JNN9.4	66.5	30.1
ANN9.4	54.6	17.8
FNN9.4	59.9	17.4
NNN9.4	60.0	16.4
平均	59.5	18.8

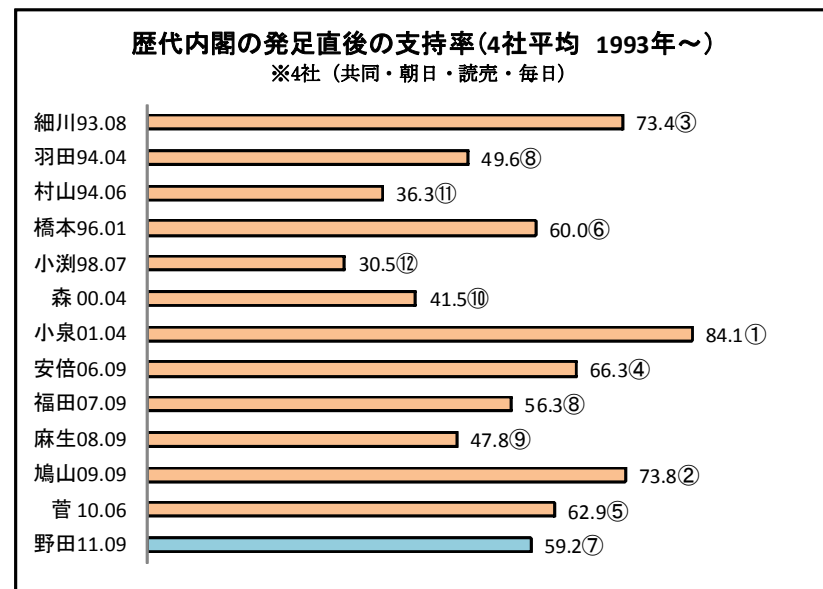
② また歴代の内閣支持率を公表している4社 (共同・朝日・読売・毎日) で比較してみると、支持率は4社平均では59.2%で、菅内閣の62.9%にわずかに及ばない。

歴代内閣支持率のトップは、4社平均では1位が小泉内閣 (84.1%)、鳩山内閣は73.8%で2位。次いで細川内閣の73.4%と続くが、野田内閣は、1993年以降の歴代13内閣では7位となっている。

③ 今回の調査で現れている主な傾向は、党内融和を考慮して選考された「輿石幹事長の起用に対して」は、調査を行っている7社平均 (共同・

朝日・読売・毎日・JNN・FNN・ANN) では、「評価する」が39.3%、「評価しない」は39.8%と拮抗している。小沢氏に配慮した人事と言われたが、反発はギリギリの範疇で収まっているようだ。

④ 「党内融和 (結束) はできるか」に対しても、「できる」が51.9%、「できない」33.1%と、期待値が高い (共同・朝日・読売・FNNの4社平均)。ただし「小沢氏への処分見直し」には、「見直す必要はない」



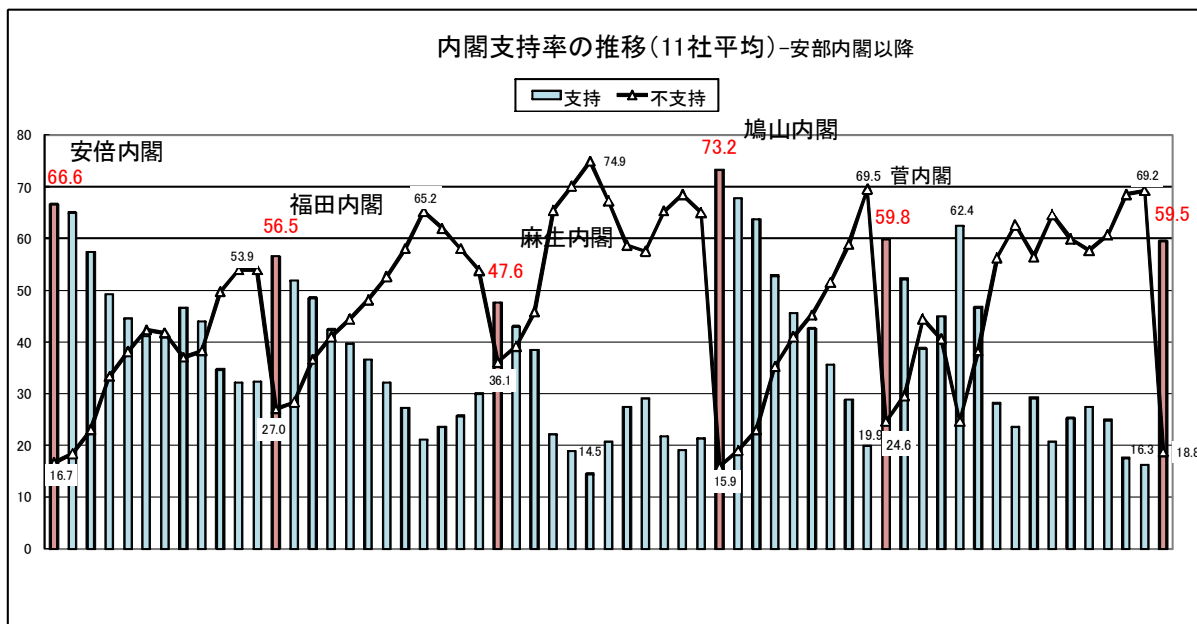
は74.8%とあいかわらず高く、「見直すべき」は19.5%にとどまっている (共同・読売・毎日・FNNの4社平均)。

⑤ 政策面では、「復興増税に対して」は、58.7%が「賛成またはやむなし」となっており、「反対」は35.2%に抑えられている (朝日を除く8社平均)。

⑥ 原発政策関係は、今回は設問を行った社が少ないが、野田内閣は菅内閣の脱原発方針を

「引き継ぐべき」だとする考えは 64 %と、「引き継ぐ必要はない」の 31 %を引き離している（毎日）。ちなみに 8 月の調査では「次の内閣は脱原発方針を引き継ぐべきか」を聞いた同主旨の調査（朝日・ANNの平均）では、「引き継ぐべき」68 %、「引き継ぐ必要はない」19 %であった。

⑦また原発の再稼働については（読売・FNN・ANN3社の平均）、「賛成」が 52.4 %で、「反



対」37.9 %をやや上回っている。

⑦ 8 月の退陣前の菅内閣は 9 社平均（日経と FNN が未実施）で 16.3 %にまで低下していた。

歴代内閣の退陣前支持率

※1989年以降(調査年・月)

朝日新聞	読売新聞	毎日新聞
①竹下 7%(89.4)	①竹下 8.0%(89.4)	①竹下 9%
②森 9%(01.2)	②森 8.6%(01.2)	①森 9%
③菅 14%(11.8)	③宮沢 10.4%(93.6)	③菅 15%
④鳩山 17%(10.05)	④菅 18%(11.8)	④宮沢 18%
⑤麻生 19%(09.8)	⑤鳩山 19%(10.05)	⑤麻生 20%
⑥福田 25%(08.8)	⑥宇野 22.8%(89.6)	⑤鳩山 20%
⑦橋本 26%(98.6)	⑦麻生 24.7%(09.8)	⑦村山 24%
⑧宮沢 26%(93.4)	⑧福田 28.3%(08.8)	⑧福田 25%
⑨宇野 28%(89.6)	⑨安倍 29.0%(07.9)	⑨橋本 27%
⑩安倍 33%(07.8)	⑩橋本 29.9%(98.6)	⑩小淵 28%
⑪村山 33%(95.12)	⑪村山 35.4%(95.12)	⑪安倍 2.9%
⑫小淵 36%(00.3)	⑫小淵 40.7%(00.3)	⑫海部 36%
⑬小泉 47%(06.8)	⑬羽田 48.2%(94.6)	⑬小泉 45%
⑭羽田 47%(94.5)	⑭海部 52.3%(91.9)	⑭細川 74%
⑮海部 50%(91.9)	⑮小泉 53.0%(06.9)	※宇野、羽田は調査なし
⑯細川 57%(94.2)	⑯細川 55.1%(94.3)	

た。偶然ではあるが、後で見る民主党の支持率も 8 月は 16.3 %にまで低下していた。粘れば粘るほど評判は悪くなるものと言うのが、歴代内閣の退陣前の支持率を記録が得られているものだけで見てみると、左表にあるように、すこぶる評判の悪いレベルまで落ちていた。

今回の野田内閣の一定の支持回復は、「自民党に任せるわけにもいかない」し、「もう一度だけ…」という気持ちになっているのかもしれない。「まずは、政権交代の四字に塗った泥を総がかりで落とすべし。」（朝日 9.5「天声人語」）

2. 民主党の政党支持率も急回復…8月16.3%→今回26.0%へ。

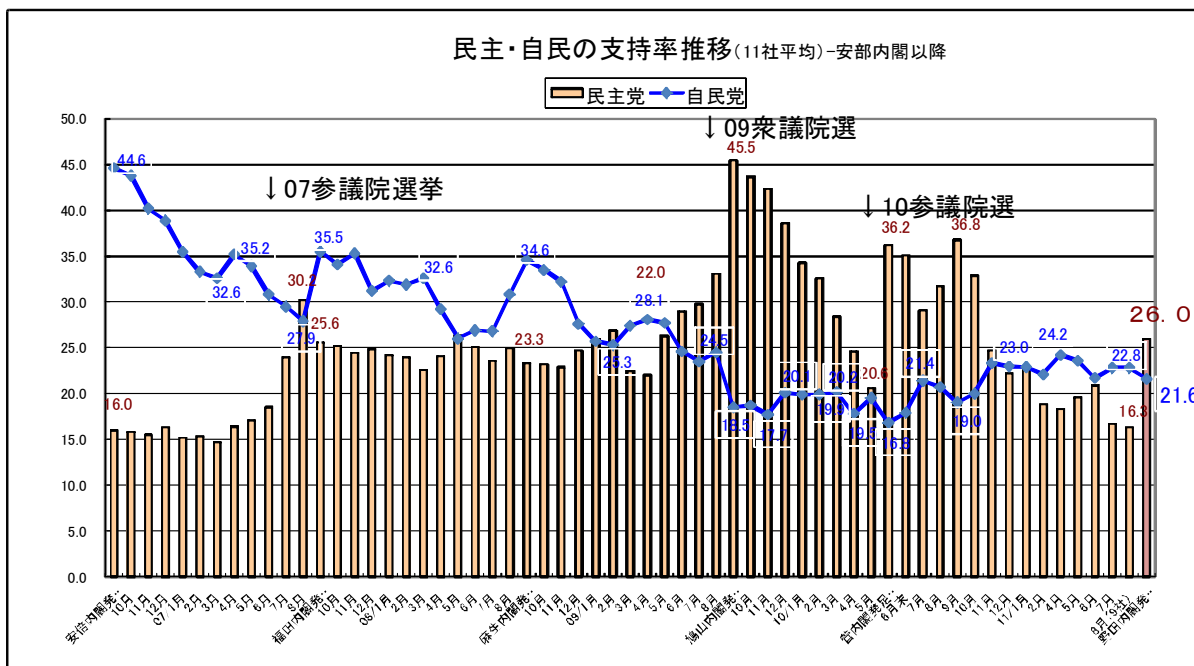
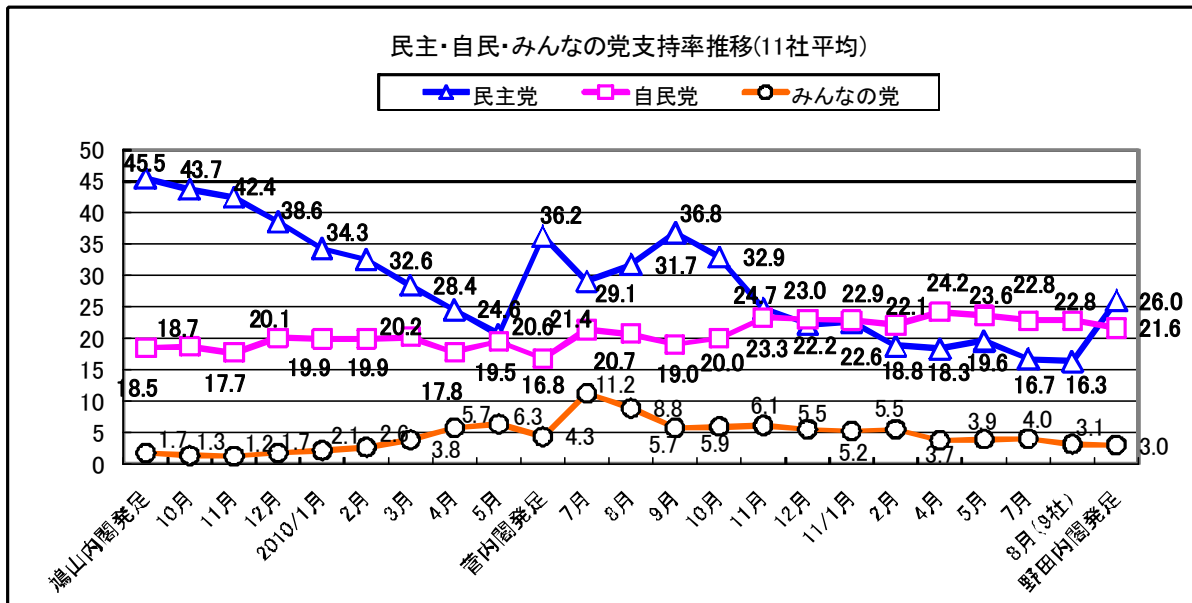
①予想されていたことだが、内閣交代とともに、民主党の支持率も急回復した。回復したと言っても、かつての政権交代時のような熱気のはらんだものまでは行かない。今回（9月）の支持率は 26.0 %。レベルで言えば、菅内閣が沖縄・中国・ロシアなどの外交問題

で失速した 11 月 (24.7 %) 以前の状態、ないしは福田・麻生内閣時代の水準、ほぼ政権獲得直前の状態にもどったという感じだ。

政 党 支 持 率 9 月

	民主	自民		民主	自民
日経9.4	36	30	NHK9.12	24.9	19.1
毎日9.4	19	16	JNN9.4	22.7	18.8
読売9.4	28	23	ANN9.4	34.8	26.6
朝日9.4	31	17	FNN9.4	22.4	22.7
共同9.4	27.2	23.6	NNN9.4	27.4	27.3
時事9.16	12.4	13.6	平均	26.0	21.6

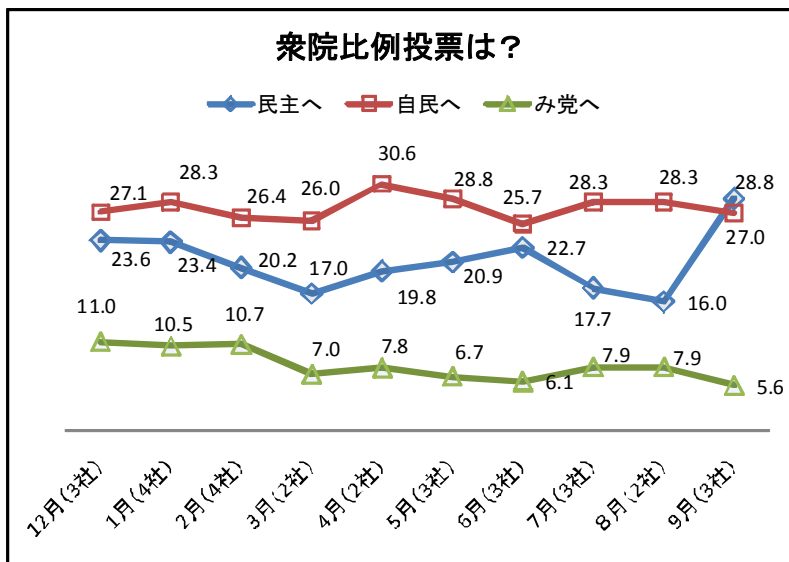
②菅内閣の末期、8月の民主党支持率は16.3%と内閣支持率と同率であった。ともかくは昨年12月に自民党23.0%、民主党22.2%と逆転されて以降、やっと再逆転がかなった。これからの国民注視に耐えた党活動が求められるだろう。ちなみに自民党は、政権崩壊後はズット2割前後で推移してきており、今回も大きな変化は見られない。



3. 衆議院選挙で「比例投票は…」でも逆転（暫定値）

① 昨年12月頃から、次の衆議院選挙では比例代表はどの政党に投票するかという設問がポツポツだが実施されてきた。

各月とも2社から4社程度と少ないし、各月で実施する社が替わっていることから、厳密には比較できないが、この調査でも、今月は、やっと「民主へ」が28.8%と、「自民へ」の27.0%を上回って逆転した。



衆院選で比例代表は？

9月	民主へ	自民へ	み党へ
読売	25	26	4
朝日	31	23	4
FNN	30.5	31.9	8.8
平均	28.8	27.0	5.6

4. 原発をどうするか…「脱原発」の趨勢は止まらず（8月までの調査）

① 今月の調査では原発政策に関する直接の設問は少ないが、8月までに実施された調査では、下図に見られるように脱原発の世論の趨勢はほぼ確定している。これにどう向き合う政権政策を確立できるかが問われている。※左図は6社平均。右図は読売の調査。

